



大船渡水産振興センター「復興板」

平成29年5月26日発行 第53号

1 漁港関係施設の災害復旧工事 進捗状況

平成29年4月30日現在、管内の県営漁港関係施設にかかる災害復旧工事の進捗率は、66.1%となっています。(平成29年4月30日現在)

	災害査定 (H28再調査決定額)		発注		進捗状況		完成
	件数	本工事費 (千円)	件数	発注額 (千円)	出来高 (千円)	率 (%)	件数
漁港	243	35,125,599	239	32,518,144	31,500,427	89.7	216
漁港海岸	11	35,443,968	11	19,881,323	14,981,579	42.3	2
漁場	2	498,880	2	498,880	498,880	100.0	2
合計	256	71,068,447	252	52,865,347	46,980,887	66.1	220

さっちゃんNEWS part1



<(一社)岩手県栽培漁業協会産 平成29年度アワビ種苗初出荷!>

(一社)岩手県栽培漁業協会では、飼育中のアワビ種苗が放流サイズに達したことにより、5月19日(金)に殻長25mmの種苗16万個を普代村漁協へ初出荷しました。種苗は昨年4月に採卵されたもので、受け入れ先の要望に合わせながら、順次県内漁協を対象に今年10月末頃まで供給される予定です。



★★★スマイル130(いちさんまる)プロジェクトについて★★★
「130万人誰もが笑顔に」をスローガンに掲げ、「県民の笑顔のために」、「感謝の笑顔を(県外、世界に)届ける」を活動のコンセプトとし、復興に取り組む職員の高士気を盛り上げ、復興に向けた県民と一体感のある取組を展開し、岩手のあるべき未来に追いつく復興を推進する取組みです。



2 水産施設等の復旧・魚市場の水揚げ状況



「さけの子さっちゃん」は、大船渡水産振興センターのPRキャラクターです



(1) 共同利用施設・養殖施設の復旧状況

漁協や各漁業者、水産加工業者などが共同で利用する施設の整備を支援しています。

事業年度	施設名	事業主体
平成 28 年度	築いそ施設	広田湾漁業協同組合
平成 29 年度	作業保管施設	綾里漁業協同組合
	作業保管施設	広田湾漁業協同組合

(2) 大船渡魚市場の水揚げ状況 (平成 29 年 1 月から 4 月末累計)

出典：いわて大漁ナビ

平成 29 年 (震災後)		平成 28 年 (震災後)		平成 20 年から平成 22 年の平均 (震災前)		前年比 (H29/28)		震災前平均との対比	
数量(t)	金額(千円)	数量(t)	金額(千円)	数量(t)	金額(千円)	数量(%)	金額(%)	数量(%)	金額(%)
4,877	584,140	8,354	517,892	9,782	702,370	58	113	50	83

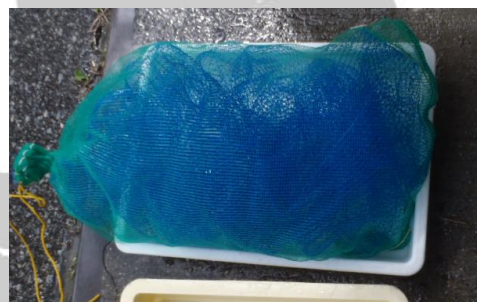
4 月は主に、イサダ(1,087t、134,719 千円)、さば類(466t、30,220 千円)、まいわし(29t、2,497 千円)等が水揚げされています。

さっちゃん NEWS part2

<ホタテガイ天然種苗の採取が行われています>

管内では、5月上旬から採苗器(タマネギ袋にネットを入れたもの、右図)を海中に投入し、ホタテガイの天然種苗の採取が行われています。

なお、各漁業協同組合等では、採苗器を投入する最適な時期を判断するために、ホタテ及び他の貝の幼生(ラーバ)の出現状況を調べる取組みを行っています。



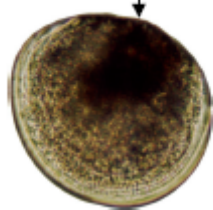
ホタテ採苗器

殻頂は丸く広く突出



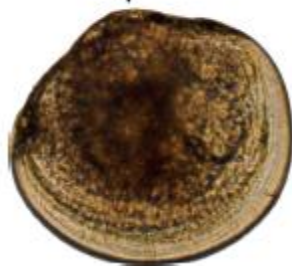
A

殻頂の突出は不明瞭



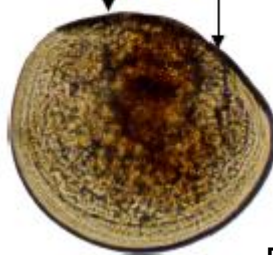
B

殻頂の突出は顕著



C

背縁は直線的



D

岩手県水産技術センター「ホタテガイラーバ写真集」より

左の図A～Dは春季に出現する主な4種類の二枚貝ラーバ(ホタテガイ、ムラサキガイ、エゾイシカゲガイ、キヌマトイガイ)の写真です。調査では、顕微鏡を使用してラーバの種類を見分けて計測します。

どれがホタテガイのラーバか分かりますか?

(※答えは左下)

(答え) B (A: ムラサキガイ、C: キヌマトイガイ、D: エゾイシカゲガイ)



『復興板』に関するお問い合わせ先
沿岸広域振興局水産部大船渡水産振興センター

(担当 宮田)

岩手県大船渡市猪川町字前田6-1合同庁舎4階

TEL:0192-27-9915 FAX:0192-21-1229

E-mail:BG0004@pref.iwate.jp